

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675100087
法人名	医療法人慈和会
事業所名	慈和会グループホーム
所在地	伊佐市大口大田96番地 (電話) 0995-23-0022
自己評価作成日	令和5年2月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームは伊佐市街地より少し離れたバイパス通りであり、母体であることで昼夜問わず安心感があります。ホームの窓からは四季折々の風景を楽しむことができます。桜の季節には窓から手を伸ばせば枝に届きそうです。田植えの季節など懐かしい風景がいっぱいです。やさしい畑には季節に応じた野菜ラクターなどの機械の音も聞こえて来るので毎日季節を感じて頂いています。昨年に続き、市中でもコロナ感染の拡大があり、面会制限や外出制限もありました。外出できない分ホーム内での生活が中心でした。ADLの維持やレクリエーション活動に職員一同力を注いでいます。毎月の合同レクリエーションでは季節の行事(1月でしたら手づくりのおみくじを利用者一人一人がくじを引かれ、一喜一憂さながら)や、普段とは違うレクリエーションに顔もほころび、中には「大変だった。」という声も聞かれます。感染症をまず、職員は「持ちこたえ、持ちい出さない」を愛言葉に感染対策にも十分気をつけ、定期的に抗原検査を実施し、より安心して利用者、職員も毎日過ごしています。利用者、職員ともに新しい年を迎え、気持ちも新たに元気で楽しむことができ、職員とともに笑顔のあるグループホームでありたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは国道沿いの母体医療機関の敷地内にあり、周辺にはファミリールーゼストランやコンビニエンスストア等がある利便性がある。コロナ禍の現在、地域行事の中止や自由に外出できない民とふれあう機会が減っているが、敷地内にある認知症デイケア人と活動を共にしたり、花見等へのドライブと一緒に参加する等している。

理念に「人権尊重、自立支援、家庭的なケア」を掲げるほか、目標を設定し、職員会議や申し送り時に唱和することで意識付け、月末に理念と年度目標が実践できたかの振り返りを行っている。人考えながら、利用者に寂しい思いをさせないように日々の生活の取り組みを、「ありがとう」と感謝の言葉や思いを伝えるなどしている。

病棟を改装したホームは2階にあり、1階は病棟であることから居宅と合同で実施している。このため、避難完了の合図として、居宅と統一して取り決め、避難訓練の際に確認している。また、居宅に行えるよう、身体状況(介護量や介護方法)が一目でわかるように、花を居室ドアに貼り付ける等の工夫をしている。

1

【 住所記入）】

病院が同敷地内に

節、稲刈りの時期
菜がつくられ、ト
いております。
がままならないこ
が生活にメリハリ
で来ました。
りの神社で初詣さ
れていました。)
たね。でも楽し
込まない、広げな
期的にコロナウイ
せる様におこなっ

くをモットーに職
、

【 機関記入）】

役所やスーパー、
よい地域に所在し
ことにより地域住
を利用して友人知
して交流を続けて

ユニット毎に年度
図ると共に、年度
権の尊重を大切に
の中で役割を見つ
られるよう支援し

ら、災害訓練は病
室ドアに枕を置く
避難誘導がスムー
よう色分けした色

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者一人一人の思いを尊重し、家庭的な雰囲気の中でその人らしい生活を維持できるように実践している	理念に加え、ユニット毎に年度目標を設定し、年度末に実践できたかを振り返っている。理念にある「人権尊重」を大切に考えながら、利用者や家族に寄り添った支援が行えるよう共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中で地域、病院行事の開催は殆どなかった。唯一認知デイケアへ参加することで地域で暮らしておられる方々との関わりを持つことは出来ている	運営推進会議のメンバーである自治会長や民生委員から地域の情報を得るほか、地元の自治会に加入している利用者もおり、地域との関係が続けている。また、併設する認知症デイケアに参加して友人や知人と交流を続けている利用者もいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域へ出かける機会はなかった		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為2か月に1回という定期的な開催は出来ていない。しかし感染者の減少時には行政担当者、地域民生委員、地域の方等声をかけ参加してもらった。月の行事、ホームの状況等発表する機会となった	コロナ禍の為、書面による開催が多かったが、令和4年度はコロナ感染症の落ち着いたタイミングでメンバー出席の会議を3回実施することができた。会議には家族や自治会長、民生委員、行政職員、包括支援センターの職員等が参加し意見交換を行うことができた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型サービス会議、医療、介護連携会議等参加して状況報告、新しい情報や他事業所との関係づくりを行っている	行政職員とは運営推進会議で顔を合わせるほか、介護保険関係の書類提出時や相談事がある時に電話や訪問で助言をもらっている。また、行政も参加する介護や医療に関する連絡会に参加して連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止、行動制限についての研修を繰り返し行っている母体の研修もあり、全員参加しアンケート、感想等記入している	年間研修計画に行動制限についての研修を組み込み、法人内職員研修として実施するほか、身体拘束適正化委員会を運営推進会議と併せて実施することで、拘束の弊害や自由な暮らしについての共有を図っている。また、利用者の行動を制限させてしまうような声掛けは拘束であるということをも十分理解した上で意識しながら日々、ケアに反映させている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についても研修を母体。グループホームでもそれぞれに行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についても研修に全員参加となっている 繰り返し行うことで理解が深まっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書、重要事項説明書、個人情報取り扱い書等について説明する。契約書は2部作成し事業所、家族それぞれで管理する。後日、分からない点が出た場合は尋ねて下さるように付け加える。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何か困りごとはないか日頃より利用者、家族に聞くようにしている。出た意見に関しては職員の意見を聞き、ケアや運営に活かすようにしている。	利用者の意見を日々の会話等、言動から汲み取ると共に、家族からは毎月の支払い時や面会時に意見や要望を尋ねている。また、年3回発刊する法人広報誌のほか、毎月生活状況報告書を作成し、家族に送付することで意見や感想をもらう機会につなげている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	昼休み時間を利用したり、職員会等職員が揃う機会を利用して話せる雰囲気作りを行っている	管理者は日々の申し送り時や職員会議、年2回実施する個別面談で職員の意見を聞くと共に、休憩時間の会話等、日頃からコミュニケーションを図っている。また、休みの希望や有給取得を勤務表に反映させることができる等、働きやすい環境を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年2月には人事考課を行い職員一人一人が記入している。1次判定は管理者が行い、2次判定は理事長が行うようになっている。1次判定前には職員一人一人に面談を行い意見を聞いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得希望者には奨学金制度がある</p> <p>資格取得に向けての勤務調整や自己の能力の開発、向上に働きかけている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修の開催は殆どなかった</p> <p>オンラインでの研修参加をする機会があった</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所希望、入所決定時に本人、家族と面談して施設の見学やパンフレットを用いて説明、質問事項に応じている 希望者には昼食を取ってもらい雰囲気を感じていただく		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時、契約時に説明、要望等を聞く 担当相談員、ケアマネジャーより家族情報も聞いておく		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	希望があれば施設体験をする場を設け、入所前カンファレンスがあれば参加する 入院中であれば情報提供書、日常の様子等聞いておく		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族や他職種からの情報も参考し、職員と共有し、本人の意向に添えるように支援していく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人とともに支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は一人一人の生活状況を毎月記入し、コメントや写真を添える等している。 来所時は日々の様子等を話したり困りごと、心配ごとなど無いか伺う		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ガラス越しでの面会や携帯電話を使い電話での会話だったりと言葉を伝える等している 認知デイケアでは近隣者、話の合う人との同テーブルとなり話す機会もある	コロナ禍の為、訪問支援は難しいが家族や友人知人との関係継続の為、電話を取り次いだり、ガラス越し面会を実施し交流している。また、隣接するデイケアで友人等と交流することができ、楽しい時間を過ごしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が孤立しない様にテーブル同士でゲーム、歌を唄う等職員が間を取り持つような支援をしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先に面会に行ったり、ご家族に会う機会があれば様子を伺うなどしている 退院後でも電話での相談などもある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	答えやすい言葉かけを工夫し話を伺い寄り添い対話を大事にし本人の気持ちに近づけるよう努力している。疎通の難しい方は仕草や顔の表情など観察し気持ちを汲み取るようにしている	日常会話や様子から利用者の思いを汲み取り支援につなげたり、着るものを2着見てもらい選んでもらう等、可能な限り本人の意思に近づけられるよう支援している。また、生活歴も参考にしながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、本人との会話を大事にしこれまでの環境や生活歴など把握するようにしている 主治医提供書、看護サマリーなども参考にしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身の状態や残された能力など職員同士で共有し毎日を安心して過せるように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族とコミュニケーションをとり困りごとなど尋ねるようになっている また毎月全体検討会を開き職員同士意見を出し合い介護計画に活かせるようにしている	利用者、家族の意向を事前に聞き取りプランに反映すると共に、受診時に把握した主治医の意見や毎月実施する検討会の評価も参考にしながらケアプランを作成している。また、身体状況に変化が見られた際は、速やかにプランの見直しを行う等、現状に即したケアプラン作成に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	顔の表情や精神状態、状態の変化などその時々で記録に記入している また職員同士口頭でも伝え情報を共有するようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況を把握し外出や病院への付き添い等柔軟に支援できるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	積極的に地域との交流に参加し安全に楽しめるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	診察時に本人、ご家族の希望が伝えられるよう付き添い、間に入り納得の行く医療が受けられるよう支援している	利用者や家族の希望する医療機関への受診を支援することができるが、現在は利用者全員が母体医療機関がかかりつけ医になっており、他科受診を含めた受診全般に職員が同行している。受診結果は家族に報告し、職員間でも共有を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりにより利用者の状態変化や気づき等夜勤者からの情報を共有し、早めの報告、相談に努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院先への主治医からの情報提供書、看護サマリー、医療連携室と連絡をとっている。又退院日の調整に努めている。退院時も情報提供書、看護サマリーなどの情報を受け取っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に家族、本人の事前意思確認書に記入してもらっている。重度化した場合は家族、本院の思いを主治医と納得いくまで話し合っている</p>	<p>入居時に「重度化した場合の対応に関わる指針」「終末期の対応に関わる指針」「事前意思確認書」を説明し、同意署名をもらっている。ホームでは看取り支援を行わない方針であるが、重度化しても可能な限り支援できるよう本人や家族、医療機関や他施設とも話し合いながら共有を図り支援につなげている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に研修に参加し、日々急変時や事故発生時の対応について職員間で話し合い対応できるように訓練している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜間想定の実施訓練を行い安全に避難できるようにしている</p> <p>母体職員にも連絡し協力を得ている</p>	<p>夜間を想定した火災訓練を併設する母体医療機関と合同で実施している。避難誘導後の合図として、居室のドアに枕を置くという取り決めを病院と統一している。備蓄は飲料水や菓子類、乾麺等を約3日分備えると共に、利用者全員分の防災頭巾を準備し万が一に備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々安心して過ごせる様に話を伺いやさしい口調での声かけや行動に気を付けている	接遇マナーや守秘義務等の研修を実施し、さり気なくトイレ誘導を行ったり、入浴時は少し離れた所から見守る等、羞恥心に配慮している。また、ポータブルトイレを使わない時間帯はドアを開けた際に目につかないようカバーを掛けたり、奥に片付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々、それぞれに合った言葉で話かけ答えが出やすいように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人に合った生活リズムを大切にし体調を見ながら過ごせる様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時の準備を一緒にしたり好みの服を本人に決めてもらっている 鏡の前で髪を梳いてもらっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	温かな物は温かく冷たいものは冷たくその人に合った食事形態で提供されている。台ふきんを私テーブルを拭いてもらっている職員と一緒に味噌汁を作ったりそば打ちをしたりしている	食事は外部に発注しているため、利用者が調理に参加することはないが、代わりにホットプレートを使ってホットケーキを作ったり、ミニケーキやプリン作り等を楽しんでいる。また、毎月実施するミニ喫茶を楽しみに過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事中は毎食の摂取状況を見守り一人ひとりの食べるペースや状態の合わせた声掛けを行っている。月に1度の体重測定で体重の減少がある場合は主治医、栄養科に相談する		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床、毎食後の歯磨きと義歯の洗浄は声掛け見届けを行い、磨き残しがないか援助している 口腔状態や口臭を観察し、必要があれば歯科受診につなげる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄間隔や習慣に合わせたトイレ誘導と適切なパット、パンツ、夜間のオムツ、PWC使用を行なっている。トイレ誘導では可能な限りできる動作を見守り残存機能の維持に努めている	ポータブルトイレを利用する利用者がいるが、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。また、夜間おむつを利用する方も日中はリハビリパンツに替えたり、状況に応じてパットのサイズを調整する等、可能な限り失敗を減らせるよう工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食前のお茶だけでなく入浴後や午後など一人一人に合った飲み物や形状等考慮して水分摂取に努めている 運動やホール内散歩や腹部マッサージ等適度に行い自然な排便を促している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴剤などを使用しゆっくりお湯に浸かってもらいほっとする時間を提供している 本人の体調に合わせて時間の変更や別の日に入浴できるようにしている	週2回の入浴を基本としているが、汗をかいたり、排泄後の保清のため適宜、入浴やシャワー浴を実施している。また、日常的に入浴剤を使用したり、冬至にゆず湯を提供するほか、入浴後の飲み物が選べる等、利用者の楽しみになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中は活動を促し生活のリズムを整えながら一人一人の体調や表情を見て休息が取れるよう支援している。夜間の良眠につなげられるようにレクリエーション、体操等を楽しんでもらっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方、効能、副作用の説明をファイルに保管し、職員全員が情報共有できるよう申し送りノート、記録、口頭で伝える。副作用などの状態変化があった場合、主治医に報告受診する		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家にいる感じで家事など個々に合った役割を提供している 職員は利用者が楽しめる行事や創作活動を考え実行している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はコロナ禍ということで全員揃っての外出は出来ていないがデイケア利用日に外に出た際気温、花等の季節を感じるような声掛けをしている	コロナ禍の為、外出頻度は少ないが、敷地内の桜を眺めたり、散歩をしたりして過ごしている。また、隣接するデイケアを利用した際に桜やコスモス見物に屋外に出かける機会がある。外出頻度が少ない代わりにユニット間交流をしてゲーム等のレクを楽しんだり、大ホールで運動会を実施する等して身体を動かし気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>通常は職員が金銭管理を行っているが本人の希望の品物等職員が購入している 衣類は好みもあり職員付き添いで買物に出かけることもある</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望する人には職員が取次ぎ、自らが話をしたり上手に話せない方には職員が間を取り持つ 手紙を書かれたら家族へ渡す</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者と一緒に季節に応じたディスプレイを作成しリビングに飾り季節を感じてもらおう 湿度、温度を空気清浄機、サーキュレーターなどを活用し快適に過ごせるように環境作りをしている</p>	<p>ホームは病棟の2階フロアを改装した構造になっており、ユニット間交流がしやすい。また、大ホールを備えており運動会や敬老会の時に利用している。廊下幅は広く、奥行きもある為、腰掛けスペースを設けている。ホールや廊下には季節の作品や行事の写真を掲示するほか、生花が飾られるなど四季が感じられる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールや廊下の長椅子等を利用者同士がくつろげる居場所を工夫しお互いにコミュニケーションを図れるように環境作りをしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いて過ごせる様家族、本人と相談しながら目の届く所に写真や飾り物を置いて空間作りを支援している	電動ベッド、エアコン、タンス、キャビネットが備えられるほか、寝具やテレビ、写真等、自宅から持ち込んだ馴染みの品を自由に配置することで居心地のよい環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には物を置かず安全に行動できるようにしている トイレにはわかりやすいようにディスプレイなどで工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない